

## 平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1-1	安全・安心まちづくり推進事業	新規	平成22年度	地域振興課

### 1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	安全・安心まちづくり 関係団体	■当初予定事業 □緊急対応事業					
事業形態	□直営 □一部委託 ■全部委託 □その他 ( )		関連事業局 ・事業内容	市民・こども局 安全・安心まちづくり事業						
目的及び内容	<p>区民や町内会などの地域団体と行政機関等の連携と協働により、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的とし、防犯の専門家による防犯講演会の開催などにより、行政と地域の連携強化、地域の防犯力及び防犯意識の向上を図り、区内の街頭犯罪を抑制する。</p> <p>さらに、当該地域団体に対してパトロール用の防犯ベストや自動車に装備し使用する青色回転灯などを貸与して地域防犯活動を支援する。</p>									
予算額	147,000 (円)	決算額	27,880 (円)	不用額※	119,120 (円)					
※不用の理由	講師依頼料が安価であり、会場使用料が無償であったこと、また予定講師と日程不調などにより講演会計画を断念したことなどから関連経費に不用が生じたため									
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>研修会の様子</p>		<p>中原区民祭における防犯啓発活動をはじめ、年末の防犯・防火キャンペーンなどを実施した。研修会（講演会）では、繁華街等での防犯に実績を有するNPO団体を講師に招き、実践的な内容の講義を受け各地域での防犯活動手法の参考とした。</p> <p>昨年度は、地域団体に対してパトロール用ベスト69着を貸し出し、地域防犯活動を支援した。</p> <p>また、市と連携した地域防犯活動の支援では、5月10日に上丸子小学校が地域防犯活動拠点として選定され、防犯パトロールや児童の見守り活動の推進と情報交換の場となっている（犯罪抑止効果のある青色回転灯も同時に設置）。</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期 (開催日/回数等)</td> <td>通年 (2月24日研修会)</td> <td>参加 人数等</td> <td colspan="2">99人</td> </tr> </table>			実施時期 (開催日/回数等)	通年 (2月24日研修会)	参加 人数等	99人	
実施時期 (開催日/回数等)	通年 (2月24日研修会)	参加 人数等	99人							

### 2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
<p>行政単独ではカバーしきれない地域防犯活動の実施、活性化を図ることにより、犯罪被害を減少させ、安全で安心して暮らせるまちづくりに確実に貢献していると考えられる。</p> <p>平成22年の区内における刑法犯罪認知件数は、前年に比べて微減であったものの、平成20年から3年連続で減少していることから、一定の犯罪抑止効果はあったと思われる。</p> <p>平成22年 犯罪認知件数 2551件（対前年 △30件 [△1.2%]） 「県警本部生活安全部データから」</p>

### 3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<p>■見直し・改善の上継続</p> <p>□終了を見越して継続する</p> <p>□現状どおり</p> <p>□終了する</p>	<p>防犯に対する関心が地域だけではなく、個人でも高まっていることから、子どもから高齢者まで、更には新たに転入してくる人々が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、講演会などを継続して開催する。</p> <p>今年度から新たな取り組みとして、「子ども向け」「高齢者向け」など、年齢層別に防犯用の啓発冊子を作成・配布し、防犯力及び防犯意識の向上を図り、安全で安心して暮らせるまちづくり推進事業を実施する。</p>	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

#### ※ 区民会議からの主な意見

今後も地域防犯活動の活性化を図り、安心・安全なまちづくりに取り組んでもらいたい。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1-2	中原区ガイドブック（安心ブック）作成事業	継続	平成17年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他（ ）	関連事業局・事業内容	なし		
目的及び内容	安全安心のまちづくりを推進するため、区の概要や公共施設、医療機関、防災拠点などを掲載した「中原区ガイドブック」を2万5千部作成し、区民課窓口をはじめとする、区役所各窓口で配布する。なお、転入セットに封入することにより、全員に配布する。				
予算額	1,838,000 (円)	決算額	813,750 (円)	不用額※	1,024,250 (円)
※不用の理由	入札の結果、入札額が当初予算額を大幅に下回ったため。				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  (作成したガイドブック)		区民の要望や区民会議での指摘を踏まえ、平成22年度はA1判で作成した。計25,000部作成し、転入者の転入セットに封入し配布するとともに、区役所窓口で配布することにより、中原区について知ってもらう機会を提供した。		
	実施時期 (開催日/回数等)	平成23年3月	参加人数等	—	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）  転入者などへ、区の概要や、公共施設、医療機関、防災拠点を案内する、ガイドブックを作成し、配布する事は評価できる。また、今年度は大判の地図を作成することで、視認性を高めた。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	より見やすく、使いやすいガイドブックとする為、形状を見直し、継続する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

転入者にとって大変便利なものである。今後も継続して作成したほうが良い。 22年度はサイズを変更したことで、見やすくなった。
--



平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1-3	案内サイン情報更新事業	新規	平成22年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	企画課	対象者	—	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	まちづくり局		
目的及び内容	武蔵小杉駅周辺の再開発事業により武蔵小杉駅、武蔵中原駅、新丸子駅周辺に設置した既存の案内サインの地図面・案内表示文字が現状にそぐわないものになっている。再開発の進捗にあわせて最新の地図面に更新し、中原区に足を運ばれた人々の利便性を向上させることを目的とする。 武蔵小杉駅周辺に設置されている案内サイン14基の地図面及び文字表示を修正するため、データ作成・製作・施行を事業者へ業務委託する。				
予算額	1,390,000(円)	決算額	1,281,000(円)	不用額※	109,000(円)
※不用の理由	指名競争入札による入札差金が生じたため				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  更新作業の様子		当事業により、案内サイン14基（平成15年度に設置された3基、平成16年度の6基、平成19年度の4基、平成21年度の1基）の地図面・案内文字情報が平成22年度10月現在に更新された。 「JR武蔵小杉駅（新南改札口）」「AEDマーク」「避難所マーク」等を新たに追加するとともに、既に移設が行われている「中原消防署」「市民館・かわさき市民活動センター」等の位置を修正した。		
	実施時期 (開始日/回数等)	10月28日1事完了	参加人数等	—	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）  武蔵小杉駅周辺は近年の再開発により、年々まちの移り変わりが激しい。駅を訪れる人々にとって案内サインの地図面・文字情報の更新は必要不可欠なものとなっており、各年度まちの変化に合わせ、案内サインの更新を継続的に行う必要がある。また、区民や駅を訪れる人々の声を聞き、必要な情報を加えたり、見やすくわかりやすい案内サインに更新していく必要がある。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	平成22年度は27基中14基と多数の案内サインの更新を行ったので、平成23年度からは再開発の進捗状況等をふまえ、既存の案内サインについて、部分的な修正を加えていく。また、新たな案内サインの必要性についても検討し、局と連携して新設も検討していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

案内板を見ている人も多く、役立っている。再開発が続くので、継続して改善していく必要がある。
---

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
II-1	橋わたしによる地域福祉の活性化事業	継続	平成19年度	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	地域保健福祉課	対象者	中原区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	まちづくり局		
目的及び内容	第3期中原区地域福祉計画では、『福祉のこころ、人と人との橋わたしで、支え合える地域づくり』を基本理念とし、重点多岐な取り組みを位置付けている。本事業内で、これらの事業を推進することで、同計画の基本目標である『1 思いやりや支え合いのこころが育つ地域の意識づくり』『2 人と人をつなぐ出会いの場づくり』『3 ボランティアがいきいきと活動できる支援体制の充実』『4 地域と行政の連携による活動支援と地域のネットワークづくり』の実現を目指す。				
予算額	608,000 (円)	決算額	554,484 (円)	不用額※	53,516 (円)
※不用の理由	印刷物をリソグラフで作成し経費を削減した。				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  ワークショップ  地域福祉講座	○まちなか講座：衛生課主催の講習会参加者及び理容業の加盟団体を対象に講座を計6回開催した。 ○地域福祉講座：福祉事業、ボランティア養成事業を公募し、5事業を選定し、事業委託した。ボランティア養成（1事業）、スキルアップ講座（1事業）、活動のPRと交流を兼ねたイベント（1事業）及び普及啓発講座（2事業）延べ約900名が参加。 ○小杉駅周辺での啓発活動：4棟2,600世帯に対して、地域福祉、献血、福祉健康まつり関連資料を配布した。地域福祉・民生委員の住民説明会を3回実施した。NPO エリアマネジメント、各マンション理事会と協働して、民生委員、児童委員の選任を行い2棟から合計3名を選出した。			
		実施時期 (開催日/回数等)	平成22年度中	参加 人数等	上記のとおり

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） ○まちなか講座は、参加者1人1人が健康への関心を再認識できるよう、分かりやすい資料や具体例で示すことにより、健康の重要性を伝えることができた。 ○地域福祉講座は、5事業の募集に対し、5事業の応募があった。区民が事業を企画・運営することで多くの参加を得ることができ、地域のニーズに沿った支援が行えた。より多くの団体に講座を活用してもらい、様々な地域で活動の活性化に利用してもらえるよう事業のPRについて検討が必要。 ○武蔵小杉駅周辺地域等の啓発活動については、2,600世帯に関連資料の配布。福祉ボランティアの機運が広がるよう様々な働きかけや関係機関と連携を図り、地域福祉の担い手である民生委員児童委員を住民の中から3名選出することが出来た。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	23年度は第3期地域福祉計画3か年の初年度であり、この計画を推進するための事業展開を図っていく。また、ワークショップの充実を図り、区民ニーズの把握に努め、地域の実情に合った交流の場の創設に向けて取り組んでいく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

地域福祉が区内全域に広がっていく取組は大切である。民生委員、児童委員の取組が住民に理解してもらおう取組も必要ではないか。
--



平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
II-2	なかはら福祉健康まつり	継続	平成11年度	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら福祉健康まつり実行委員会		対象者	中原区民		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )		関連事業局・事業内容	なし			
目的及び内容	「であい、ふれあい、ささえあい」をテーマに、区内で福祉や健康に関わる活動をしている団体やボランティアなど約50団体が参加して、口頃の活動の発表や展示、体験型イベントを通じ、区民に福祉や健康への理解を深めてもらうとともに、参加団体の交流の場として実施する。						
予算額	1,200,000(円)	決算額	1,200,000(円)	不用額※	0(円)		
※不用の理由							
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		地域の福祉・健康団体が日頃行っている活動の発表の場として、まつりを実施した。各種健康体操の実演、手話ダンス、作品展示販売、物忘れチェックテスト、食材つりゲーム、栄養バランス試食コーナー等、区民が直接楽しみながら体験できる様々なイベントを取り入れ、福祉や健康に対する具体的な理解に役立つことができた。また、区民や各福祉団体間の交流を図ることができた。				
	福祉健康まつりの様子		実施時期(開催日/回数等)	平成22年11月20日	参加人数等	1,350人	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)

区民参加型のイベントとして、地域で活動している福祉や健康に関する団体が主体となって実施している。活動を広く市民に知ってもらうことにより、健康づくりや福祉に関心を持ち、理解を深めてもらう機会とすることができた。また、高齢者、障害者、健康づくりに関わる様々な団体が、福祉健康まつりを通じ、交流を図る機会となり、地域活動のネットワークづくりに貢献することができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	平成23年2月の実行委員会(反省会)では、各団体から次回の開催に向け修正するところや新たに準備が必要など、意見交換がなされた。それを元に平成23年の実行委員会では改善の上継続していく方向である。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

イベントの開催を通じて、区民の福祉・健康に対する関心及び理解が深まっている。もっと多くの方に来場してもらえるよう広報の改善が必要である。